



学校だより

宮古島市立北小学校
第14号
文責 呉屋 武志

「前泊 真梨恵先生による研究授業」

授業の導入から工夫を凝らしていた。物語の内容に迫るクイズが電子黒板に映し出される。概略を把握していないと解けない問題が易から難へとテンポよく進んでいく。児童は既習事項をよく理解しているのであろう、簡単すぎると言わんばかりの表情で全員が正解を答えていく。それを教師が「天才すぎる！」と最高級の褒め言葉で称える。3問目あたりで児童の思考の扉が開いた感じを受けた。参加意識が高まり、残りの時間も意欲的に取り組むだろうと確信できた。

その後は、最後まで集中を切らすことなく、今日の課題をクリアして次の時間の分までやっていた。去年までの担任方が「すごく成長している」と言葉をもらすほどの出来映えでした。さすがスマイル3組です。

真梨恵先生へのインタビュー

Q 北小児童へ一言

A とてもあいさつが上手な北小のみなさん。一緒に学校生活を楽しみましょう。



【地震・津波の避難訓練】

今回は、地震が発生し津波がくると想定しての訓練です。津波がきて「外に逃げるのはもう危ない」という時は、学校のような丈夫な建物の上の方に逃げる「垂直避難」で身を守ることを学習しました。

もう1つ「津波フラッグ」にもふれました。これは「海にいる皆さん、すぐに逃げて！」というメッセージを伝えるための旗です。泳いでいるときは耳に水が入って警報等が聞こえませんが、このフラッグを覚えておくことが、自分の命を守ることに繋がります。



〈保護者参加型授業参観〉

2学年は、例年土日に行われていた「親子レク」を通常の授業に保護者が参加するという形の方法をとりました。

あいにくの雨で駐車場も確保できない状態でしたが、体育館は多くの保護者の熱気と笑顔であふれていました。あちらこちらから声援が飛び交います。

子供たちに喜びを与え、保護者の皆様にとっても交流と親睦を深める貴重な機会になったと思います。

新しい取組は成功ではなく成長を目指しています。失敗を恐れず次に活かすくらいの気持ちで持続可能な取組を模索していきましょう。

＜児童の活躍報告＞

☆第24回宮古島市管打楽器コンテンス アンサンブル部門

金管七重奏 金賞 北小学校（北小から2チームが県大会派遣となります）

☆第20回宮古島市民総合文化祭

「書道の部」 教育長賞：伊良皆 妃那 優秀賞：池間 大希

「美術の部」 教育長賞：本村 彩夏 優秀賞：平良 悠道 池原 芽音 今井 心花

「俳句の部」 市長賞：池原 芽音 優秀賞：古山 澄太郎

「詩の部」 市長賞：狩俣 和佳

「工作の部」 優秀賞：上原 月菜 他：合計46名が入賞しています

☆第7回みやこ下地島空港ターミナル 夏休み図画コンクール2025

「千年先の、未来へ。」賞：増田 知晃

おめでとう